

教育課程等の概要

(山形大学大学院教育実践研究科教職実践専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
共通科目	教育課程	特色あるカリキュラムの開発	1前	2				○								兼1		
		カリキュラムの評価と今日的課題	1後	2			○			1	1							
		小計 (2科目)	—	4	0	0	—	—	—	1	2	0	0	0		兼1	—	
	教科指導	授業実践の記録・分析と校内研修	1前	2					○	1								
		教材開発と児童生徒理解 (言語系)	1前		2				○		1							
		教材開発と児童生徒理解 (数理系)	1前		2				○									
		小計 (3科目)	—	2	4	0	—	—	—	2	1	0	0	0	0	0	—	
	教育相談	子どもの不応への理解と支援	1前	2					○		1							
		学校カウンセリングの実践と課題	1後	2					○		1					兼1		
		小計 (2科目)	—	4	0	0	—	—	—	0	2	0	0	0	0	兼1	—	
	学級学校経営	学級経営とカリキュラムの開発	1前	2					○		1							
		組織管理の実践と学校	1後	2					○	1	1						兼1	
		小計 (2科目)	—	4	0	0	—	—	—	1	2	0	0	0	0	兼1	—	
	学校教育職	社会と教員の在り方	1前	2					○	1	1							
		学校の安全と防災教育	1後	2					○		1							
		小計 (2科目)	—	4	0	0	—	—	—	1	2	0	0	0	0	0	—	
	学校実習科目	実践的指導	教職専門実習Ⅰ (附属学校)	1前	3						6	7						
			教職専門実習Ⅱ (連携協力校)	1後	4						6	7						
教職専門実習Ⅲ (連携協力校)			2前	2						6	7							
教職専門実習Ⅳ (附属学校)			2後	1						6	7							
小計 (4科目)			—	10	0	0	—	—	—	24	28	0	0	0	0	0	—	
コース別選択科目	学習開発コース	発達障害児の個別支援の実際と課題	1前		2				○							兼1		
		発達障害児のコミュニケーション支援	2前		2			○			1					兼1		
		認知学習過程と評価	1前		2					○	1					兼1		
		道徳教育の実践と課題	1前		2			○			1					兼1		
		数理系教科活用力とリテラシー	1後		2						2					兼2		
		言語系教科活用力とリテラシー	1後		2							1				兼2		
		表現系教科活用力とリテラシー	1後		2											兼3		
		社会・生活系教科活用力とリテラシー	1後		2						1					兼3		
		数理系教材開発プロジェクト実習	2前		2						2					兼6		
		言語系教材開発プロジェクト実習	2前		2							1				兼4		
		表現系教材開発プロジェクト実習	2前		2											兼4		
		社会・生活系教材開発プロジェクト実習	2前		2						1	1				兼5		
		脳科学と子ども支援	1後		2				○			1				兼1		
		教材開発のための教科内容研究																
		数理系	教材開発のための教科内容研究 (代数学領域)	1後		2											兼1	
			教材開発のための教科内容研究 (幾何学領域)	1前		2											兼1	
			教材開発のための教科内容研究 (物理学領域)	1前		2											兼1	※講義
			教材開発のための教科内容研究 (化学領域)	1後		2											兼1	
教材開発のための教科内容研究 (生物学領域)	1後			2											兼1			
教材開発のための教科内容研究 (地学領域)	1前			2											兼1			
言語系	教材開発のための教科内容研究 (国語学領域)	1前		2											兼1	※講義		
	教材開発のための教科内容研究 (国文学領域)	1後		2											兼1			
	教材開発のための教科内容研究 (漢文学領域)	1前		2											兼1	※講義		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
コース別選択科目	言語系	教材開発のための教科内容研究（日本語教育学領域）	1後		2			○								兼1	※講義
		教材開発のための教科内容研究（英文学領域）	1前		2			○								兼1	
		教材開発のための教科内容研究（英語学領域）	1後		2			○								兼1	
	社会・生活系	教材開発のための教科内容研究（歴史学領域）	1前		2			○								兼1	※講義
		教材開発のための教科内容研究（哲学・倫理学領域）	1前		2			○								兼1	
		教材開発のための教科内容研究（機械工学領域）	1後		2			○								兼1	
		教材開発のための教科内容研究（木材加工領域）	1前		2			○								兼1	
		教材開発のための教科内容研究（金属加工領域）	1後		2			○								兼1	
		教材開発のための教科内容研究（食生活領域）	1後		2			○								兼2	
		教材開発のための教科内容研究（衣・住生活領域）	1前		2			○								兼2	
	表現系	教材開発のための教科内容研究（作曲・指揮領域）	1前		2			○								兼1	※講義
		教材開発のための教科内容研究（絵画領域）	1前		2			○								兼1	
		教材開発のための教科内容研究（デザイン・工芸領域）	1後		2			○								兼1	
		教材開発のための教科内容研究（美術史・美術理論領域）	1後		2			○								兼1	
		教材開発のための教科内容研究（体育学領域）	1前		2			○								兼1	
		教材開発のための先進研究A（科学・技術）	1後		2			○		1						兼12	※講義
		教材開発のための先進研究B（文化・社会）	1後		2			○		1						兼10	※講義
		小計（39科目）	-	0	78	0		-		11	6	0	0	0		兼57	-
	学校力開発コース	子ども理解の事例研究	1後		2			○			1						※講義 ※講義 ※講義 ※講義 ※講義 ※講義
		人間関係形成の実践と課題	1前		2			○			1					兼4	
		学校研究推進の実践と課題	1前		2			○			1					兼1	
		学校改善プラン開発実習	2前	2				○		1	1					兼1	
		小規模複式学級の実践と課題	1後		2			○			1					兼1	
		学社融合の実践と課題	1後		2			○		1	1					兼1	
		学校力とファンリテーション	1後		2			○			1					兼1	
		教員のキャリア形成	2前		2			○			1					兼1	
		地域教育計画の事例研究	1前		2			○			1					兼1	
	小計（9科目）	-	2	16	0		-		2	9	0	0	0		兼8	-	
応用実習	都市圏実習	1後		2				○	2								
	異文化圏実習	1後		2				○		1							
	小計（2科目）	-	0	4	0		-		2	1	0	0	0		0	-	
総括評価	教職実践プレゼンテーションⅠ	1後	1					○	6	7							
	教職実践プレゼンテーションⅡ	2後	2					○	6	7							
	小計（2科目）	-	3	0	0		-		12	14	0	0	0		0	-	
合計（67科目）				33	102		10	51	6	6	7	0	0	0	兼66	-	
学位又は称号	教職修士（専門職）		学位又は学科の分野			教員養成関係											
卒業要件及び履修方法							授業期間等										
1. 標準修業年限は2年とする。 2. 下記の科目から修了に必要な単位として45単位以上を取得すること。 ・「共通科目」は、必修18単位と選択必修2単位の計20単位取得する。 ・「コース別選択科目」は、各コース毎にコースが認める科目から10単位以上取得し、他コース・応用実習領域の選択科目から2単位以上を取得する。 ・「教育実習科目」は、10単位を取得する。 ・「総括評価領域」は、3単位を取得する。							1学年の学期区分		2期								
							1学期の授業期間		15週								
							1時限の授業時間		90分								

教育課程等の概要

(山形大学大学院教育実践研究科教職実践専攻)

(補正前)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
共通科目	教育課程	特色あるカリキュラムの開発	1前	2				○			1					兼1		
		教科を生かした「総合的学習」の実践と課題	1後	2				○			1							
		小計 (2科目)	-	4	0	0		-			1	1	0	0	0	兼1	-	
	教科指導	授業実践の記録・分析と校内研修	1前	2				○			1							
		教材開発と児童生徒理解 (言語系)	1前		2			○			1							
		教材開発と児童生徒理解 (数理系)	1前		2			○			1							
		小計 (3科目)	-	2	4	0		-			2	1	0	0	0	0	-	
	教育相談	子どもの不応への理解と支援	1前	2				○				1						
		学校カウンセリングの実践と課題	1後	2				○				1				兼1		
		小計 (2科目)	-	4	0	0		-			0	2	0	0	0	兼1	-	
	学級学校経営	学級経営とカリキュラムの開発	1前	2				○				1				兼1		
		組織管理の実践と学校	1後	2				○			1	1						
小計 (2科目)		-	4	0	0		-			1	2	0	0	0	兼1	-		
学校教育教職	社会と教員の在り方	1前	2				○			1	1							
	学校の安全と防災教育	1後	2				○				1							
	小計 (2科目)	-	4	0	0		-			1	2	0	0	0	0	-		
学校実習科目	実践的指導	教職専門実習Ⅰ (附属学校)	1前	3					○		6	7						
		教職専門実習Ⅱ (連携協力校)	1後	4					○		6	7						
		教職専門実習Ⅲ (連携協力校)	2前	2						○		6	7					
		教職専門実習Ⅳ (附属学校)	2後	1						○		6	7					
		小計 (4科目)	-	10	0	0		-			24	28	0	0	0	0	-	
コース別選択科目	学習開発コース	発達障害児の個別支援の実際と課題	1前		2			○			1					兼1		
		発達障害児のコミュニケーション支援	2前		2			○				1				兼1		
		認知学習過程と評価	1前		2				○		1					兼1		
		道徳教育の実践と課題	1前		2				○		1					兼1		
		数理系教科活用力とリテラシー	1後		2				○		2					兼2		
		言語系教科活用力とリテラシー	1後		2				○			1				兼2		
		表現系教科活用力とリテラシー	1後		2				○		1					兼3		
		社会・生活系教科活用力とリテラシー	1後		2				○		1					兼3		
		数理系教材開発プロジェクト実習	2前		2				○		2					兼6		
		言語系教材開発プロジェクト実習	2前		2				○			1				兼4		
		表現系教材開発プロジェクト実習	2前		2				○		1					兼4		
		社会・生活系教材開発プロジェクト実習	2前		2				○		1	1				兼5		
		脳科学と子ども支援	1後		2				○			1				兼1		
		教材開発のための教科内容研究																
		数理系	教材開発のための教科内容研究 (代数学領域)	1後		2				○							兼1	
教材開発のための教科内容研究 (幾何学領域)	1前			2				○							兼1			
教材開発のための教科内容研究 (物理学領域)	1前			2				○							兼1	※講義		
教材開発のための教科内容研究 (化学領域)	1後			2				○							兼1			
教材開発のための教科内容研究 (生物学領域)	1後			2				○							兼1			
教材開発のための教科内容研究 (地学領域)	1前			2				○							兼1			
言語系	教材開発のための教科内容研究 (国語学領域)	1前		2				○							兼1	※講義		
	教材開発のための教科内容研究 (国文学領域)	1後		2				○							兼1			
	教材開発のための教科内容研究 (漢文学領域)	1前		2				○							兼1	※講義		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
コース別選択科目	言語系	教材開発のための教科内容研究（日本語教育学領域）	1後	2			○								兼1	
		教材開発のための教科内容研究（英文学領域）	1前	2			○								兼1	※講義
		教材開発のための教科内容研究（英語学領域）	1後	2			○								兼1	
	社会・生活系	教材開発のための教科内容研究（歴史学領域）	1前	2			○								兼1	
		教材開発のための教科内容研究（哲学・倫理学領域）	1前	2			○								兼1	
		教材開発のための教科内容研究（機械工学領域）	1後	2			○								兼1	※講義
		教材開発のための教科内容研究（木材加工領域）	1前	2			○								兼1	
		教材開発のための教科内容研究（金属加工領域）	1後	2			○								兼1	
		教材開発のための教科内容研究（食生活領域）	1後	2			○								兼2	
		教材開発のための教科内容研究（衣・住生活領域）	1前	2			○								兼2	
	表現系	教材開発のための教科内容研究（作曲・指揮領域）	1前	2			○								兼1	
		教材開発のための教科内容研究（絵画領域）	1前	2			○								兼1	
		教材開発のための教科内容研究（デザイン・工芸領域）	1後	2			○								兼1	
		教材開発のための教科内容研究（美術史・美術理論領域）	1後	2			○								兼1	※講義
		教材開発のための教科内容研究（体育学領域）	1前	2			○								兼1	
		教材開発のための先進研究A（科学・技術）	1後	2			○			1					兼12	※講義
		教材開発のための先進研究B（文化・社会）	1後	2			○			1					兼10	※講義
		小計（39科目）	—	0	78	0	—	—	—	11	6	0	0	0	兼57	—
	学校力開発コース	子ども理解の事例研究	1後	2			○									
		人間関係形成の実践と課題	1前	2			○									
		学校研究推進の実践と課題	1前	2			○								兼4	※講義
		学校改善プラン開発実習	2前	2		2	○			1	1				兼1	※講義
		小規模複式学級の実践と課題	1後	2		2	○				1				兼1	※講義
		学社融合の実践と課題	1後	2		2	○			1	1					※講義
		学校力とファシリテーション	1後	2		2	○				1					※講義
		教員のキャリア形成	2前	2		2	○				1				兼1	
		地域教育計画の事例研究	1前	2		2	○				1				兼1	※講義
	小計（9科目）	—	2	16	0	—	—	—	2	9	0	0	0	兼8	—	
応用実習	都市圏実習	1後	2					○	2							
	異文化圏実習	1後	2					○		1						
	小計（2科目）	—	0	4	0	—	—	—	2	1	0	0	0	0	—	
総括評価	教職実践プレゼンテーションⅠ	1後	1				○		6	7						
	教職実践プレゼンテーションⅡ	2後	2				○		6	7						
	小計（2科目）	—	3	0	0	—	—	—	12	14	0	0	0	0	—	
合計（67科目）				33	102		9	52	6	6	7	0	0	0	兼66	—
学位又は称号	教職修士（専門職）		学位又は学科の分野			教員養成関係										
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
1. 標準修業年限は2年とする。 2. 下記の科目から修了に必要な単位として45単位以上を取得すること。 ・「共通科目」は、必修18単位と選択必修2単位の計20単位取得する。 ・「コース別選択科目」は、各コース毎にコースが認める科目から10単位以上取得し、他コース・応用実習領域の選択科目から2単位以上を取得する。 ・「教育実習科目」は、10単位を取得する。 ・「総括評価領域」は、3単位を取得する。								1学年の学期区分				2期				
								1学期の授業期間				15週				
								1時限の授業時間				45分				